



寒い日が続いている。体調をくずしがちになってしまいませんか？ そんな時は、節分に「鬼は外、福は内」と大きな声を出して豆まきをして、病気や災いを追いはらい、福を呼び込みましょう。また、豆には栄養がたくさんつまっていますので、いり豆や豆を使った料理を食べて元気にすごしましょう。

献立の基本を知って 栄養バランスをととのえよう



好きなものばかり食べたり、ダイエットなどで食事を制限していると、栄養バランスがくずれてしまします。献立の基本を覚えて、栄養バランスのよい食事を心がけましょう。

野菜料理・果物など

ビタミンやミネラルを多く含み、体の調子をととのえる役割があります。

ごはん・パン・めんなど

炭水化物が多く、エネルギーのもとになります。脳の栄養であるブドウ糖を豊富に含んでいます。

魚介料理・肉料理・卵料理など

おもに体をつくるたんぱく質が豊富です。肉ばかりでなく魚や豆腐も取り入れましょう。

みそ汁・スープ・牛乳など

水分補給としての役割のほか、ミネラルやビタミンの供給源になります。

① 主食を決める



② おもなおかずを決める



③ 足りない食品を補うおかずや汁物を決める



献立を立てるときのポイント

ごはんが中心の



日本型食生活

日本が世界の中でも長寿国なのは、食生活にその一因があるといわれています。主食のごはんを中心に、旬の食材を使った主菜（魚介など）、副菜（野菜・果物など）、汁物（大豆製品のみそ汁など）をバランスよく組み合わせた食事を「日本型食生活」といい、私たちの食生活の基本となっています。

ワンディッシュでもOK!?



チャーハンや親子丼など、1つの皿ですんでしまう料理の場合、副菜を忘れてしまいがちです。
なるべく副菜を加えましょう。



おひたし



野菜炒め



酢の物

今月の献立から

～ポークカレー～（中学校の分量）

<材料> 4人分

・ぶた肉	130g
・ひきわり大豆	50g
・じゃがいも	200g
・玉ねぎ	160g
・にんじん	100g
・グリンピース	40g

給食のカレーは人気の高いメニューです。ぜひ、作ってみてください。

調味料

・おろしにんにく	4g
・マーガリン	4g
・スキムミルク	20g
・とけるチーズ	10g
・無糖ヨーグルト	10g
・カレールウ	60g
・ウスターソース	25g
・赤ワイン	4g
・ケチャップ	28g
・アップルソース	10g
・ブルーンピューレ	10g
・食塩	少々

作り方

- 薄切りにした玉ねぎと豚肉・おろしにんにくをマーガリンで炒める。
- にんじんを加えさらに炒める。
- ひたひたの水とじゃがいもを加えて煮る。
- 調味料とグリンピースを入れて仕上げる。